

平成 24 年 10 月 18 日

週刊朝日 編集長・発行人

河島 大四 様

自由同和会中央本部

週刊朝日の緊急連載「ハシシタ 奴の本性」の記事に対する 抗議文

週刊朝日は 10 月 26 日号において、緊急連載として「ハシシタ 奴の本性」との記事を掲載した。

この記事は、昨年、私どもが緊急声明を出し、謝罪とお詫びの記事を求めた、週刊新潮、週刊文春と同様な内容であり、同和関係者への差別・偏見を助長するものである。

今回は特に、血脈や DNA の文字を使用して、橋下市長の人格形成とは全く関係のない実父や従兄弟の事件を関係づけ、修羅が渦巻いているとしている。

18 日行った記者会見で橋下市長は、血脈主義や身分制、そして、部落差別を肯定するのかと、週刊朝日や親会社である朝日新聞に憤りを露わにした。

橋下市長の論理的指向や政策に批判があるのであれば、そのことを批判すべきであり、出自を絡めての批判は、同和問題に関する偏見を肯定するもので、著しい差別助長である。

社会の公器としてのメディアの役割は、差別や偏見を助長させるのではなく、解消させる方向に世論を形成することにあるのではないのか。

今回の緊急連載は、出自を絡めたとにより、橋下市長を貶めるだけでなく、全国に散在するすべての同和関係者をも貶め、これまでの同和教育・啓発を無にしたことに抗議するとともに、本来の役割とは真逆であることを認識して、連載を中止し、次号に橋下市長と全国に散在する同和関係者に謝罪する記事を掲載するよう要求するものである。

以上